

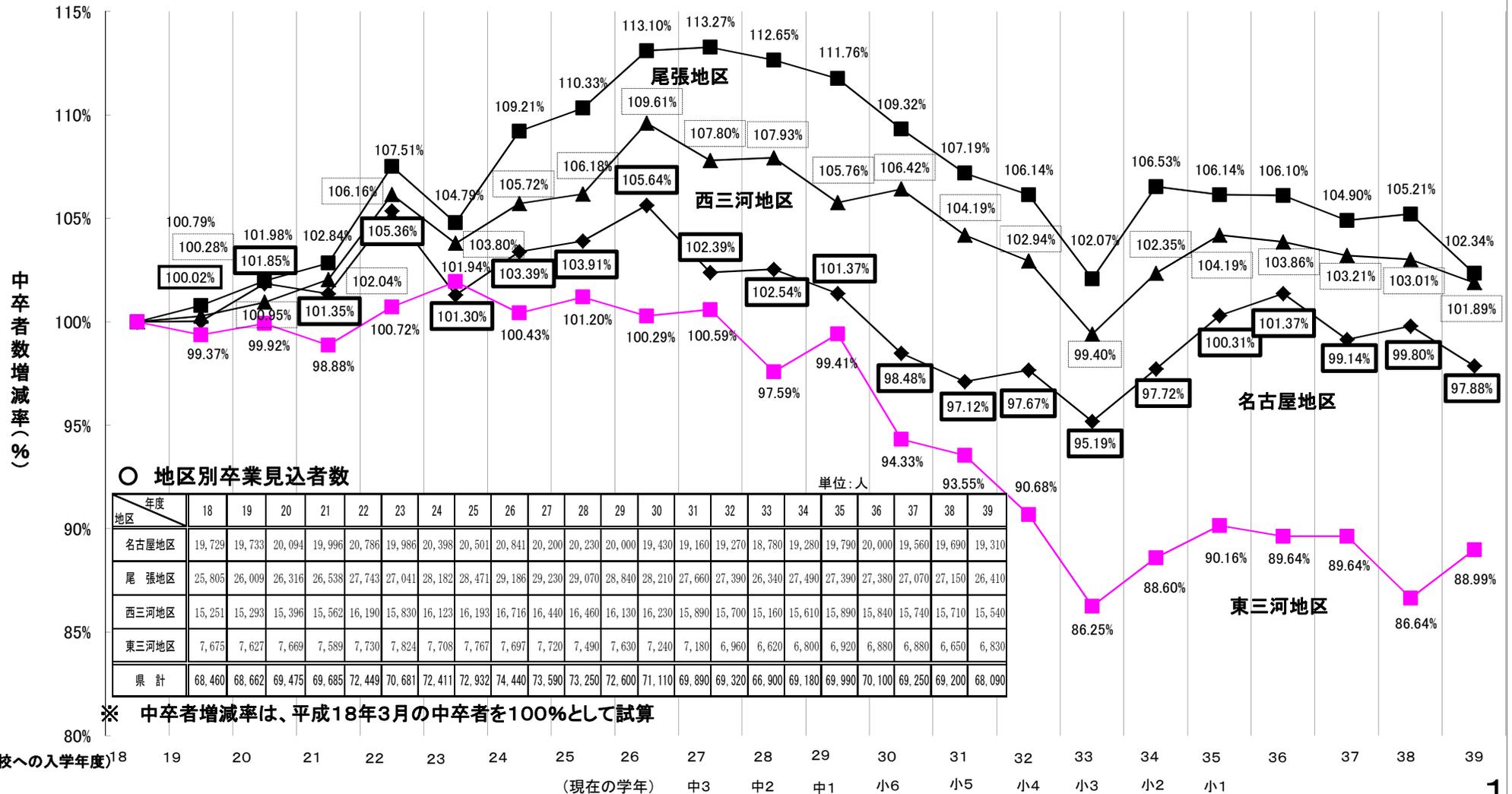
参 考 資 料

1	中学校卒業者の推移及び今後の見込み（地区別）	P 1
2	県立高等学校におけるキャリア教育について	P 2
3	農業・水産高等学校の設置状況	P 3
4	工業高等学校の設置状況	P 4
5	商業高等学校（商業科をもつ高等学校）の設置状況	P 5
6	家庭・看護・福祉高等学校の設置状況	P 6

中学校卒業者の推移及び今後の見込み（地区別）

- 中学校卒業生数は全県的には、平成18年3月をボトムに平成26年3月を当面のピークとし、平成33年3月まで減少し、その後回復する。
- 地区によっては、平成18年度のボトムを1割程度下回る地区もある。

平成18～24年度・・・各年5月1日調学校基本調査による。
 平成25年度・・・25年5月1日県教委調査による。
 平成26～34年度・・・25年5月1日県教委調小中学校在籍児童・生徒数を基礎として学年進行を見込んだ卒業生の推計数



県立高等学校におけるキャリア教育について

本県では、平成 25 年度の県立全日制高校の卒業生（H26.3 卒業）のうち、在学中に 1 度でもインターンシップ等に参加した生徒の割合が 21.7%となっている。学科別にみると、普通科が 13.9%、職業学科が 46.5%である。

1 県立全日制高校のインターンシップ等の実施状況の推移

平成 23 年度以降全ての全日制県立高等学校 146 校でインターンシップ等を実施
在学中に 1 度でもインターンシップ等に取り組んだ生徒の数は年々上昇

年度	H21	H22	H23	H24	H25
実施校 [校]	85	143	146	146	146
卒業生数 [人]	35,864	36,401	37,003	38,645	37,451
在学中に 1 度でも参加した生徒数 [人]	4,630	5,417	6,197	7,792	8,136
在学中に 1 度でも参加した生徒数の割合 [%]	12.9	14.9	16.7	20.2	21.7

普通科 13.9
職業学科 46.5

平成 25 年度のインターンシップ等の活動日数別の参加生徒数とその割合

日数	1 日	2 ~ 3 日	4 ~ 5 日	6 ~ 10 日	11 ~ 29 日	合計
人数 [人]	3,775	5,207	1,004	145	768	10,899
割合 [%]	34.6	47.8	9.2	1.3	7.0	

2 全日制普通科高校における教育課程上の取組

	学校数
職業科目を設置している普通科	29校
「産業社会と人間」を設置している普通科	0校

*「産業社会と人間」は、総合学科に設置される学校独自の科目。社会人講話、ライフプランの作成、職業に関する研究などを通じて、将来の職業生活の基礎となる能力や態度を育成する。平成 23 年 1 月の中教審答申で、高等学校の教育課程にこの「産業社会と人間」又はそれに類する科目を位置づけることについて、検討が必要であると指摘されている。

3 課題

平成 26 年 3 月卒業生のうち、在学中に 1 度でもインターンシップ等に参加した生徒の割合は 21.7%であり、参加生徒の割合の一層の上昇が課題

学科別にみると、普通科が 13.9%、職業学科が 46.5%であり、普通科における実施率の向上が課題

活動日数で見ると、1 日のみの活動が 34.6%（普通科のみでは 62.1%）であり、複数日のインターンシップが課題

教育課程に「職業科目」や「産業社会と人間」を位置付けて、キャリア教育の充実を図ることが課題

4 課題への対応

キャリア教育推進事業の実施

14 地域の拠点校にキャリア教育支援員を配置して、インターンシップ等の推進と受け先の拡充

「あいち夢はぐくみサポーター」制度の創設（H23.7）

インターンシップ等の受け入れ企業への登録依頼

【登録サポーター数 814 団体】（H26.2.28 現在）

実施形態の工夫

・ジョブシャドウイング（1～2 日）の積極的な実施（主に普通科）

生徒が実際の事業所に訪れ、そこで働く従業員に『影』のように密着し、その仕事内容や職場の様子を観察し、仕事や職種に関する認識の幅を広げる機会と、働くことについての気づきを促すことに重点

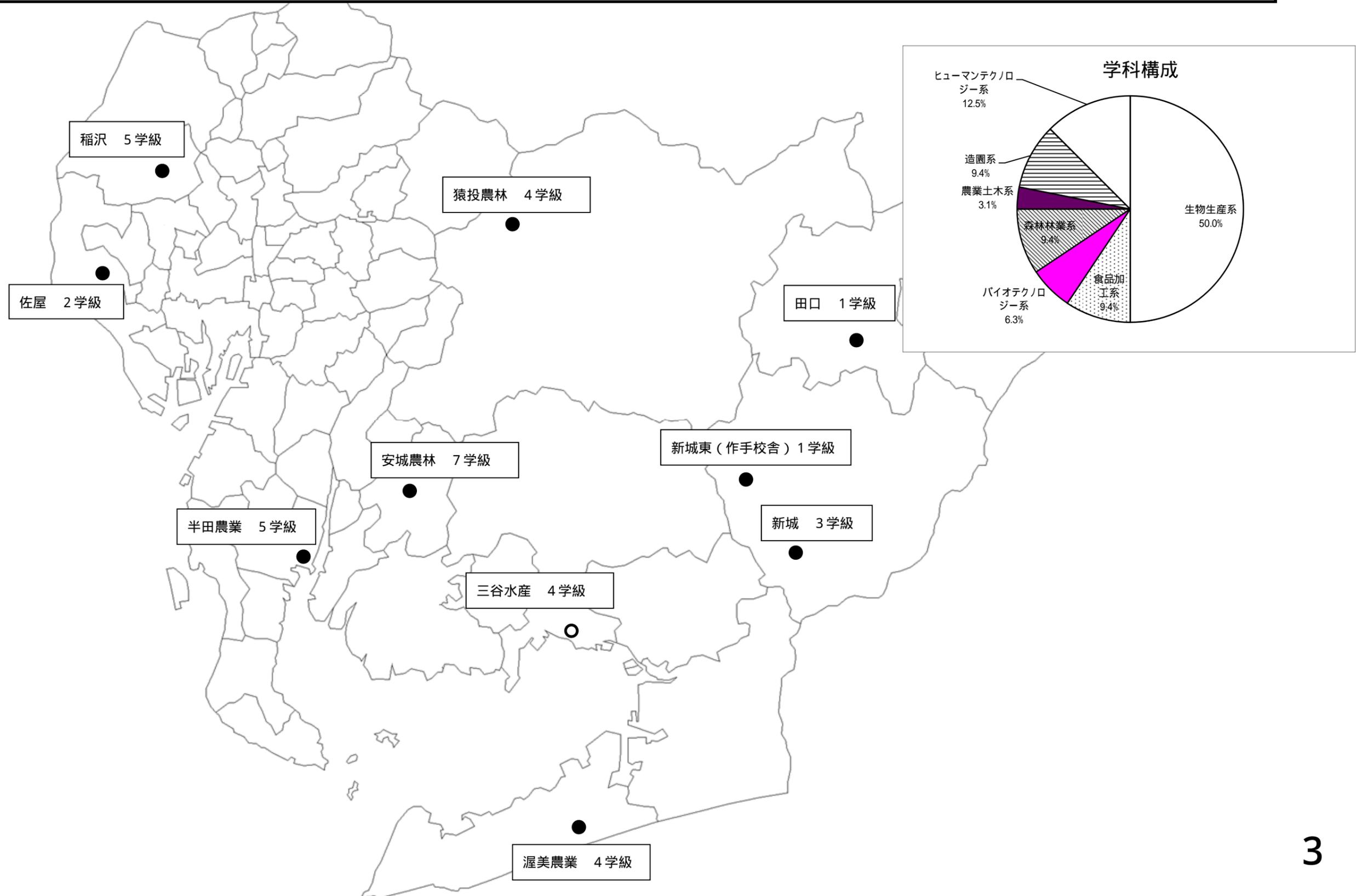
ジョブシャドウイングは「働く人」を知るのに効果的。客観的に仕事や職場を観察し、仕事への姿勢ややりがいにふれることが可能

農業・水産高等学校の設置状況

農業に関する学科を設置している県立高校は、農業科単独校5校、その他の学科との併置校3校と1校舎の合計9校。（全日制県立高校146校）

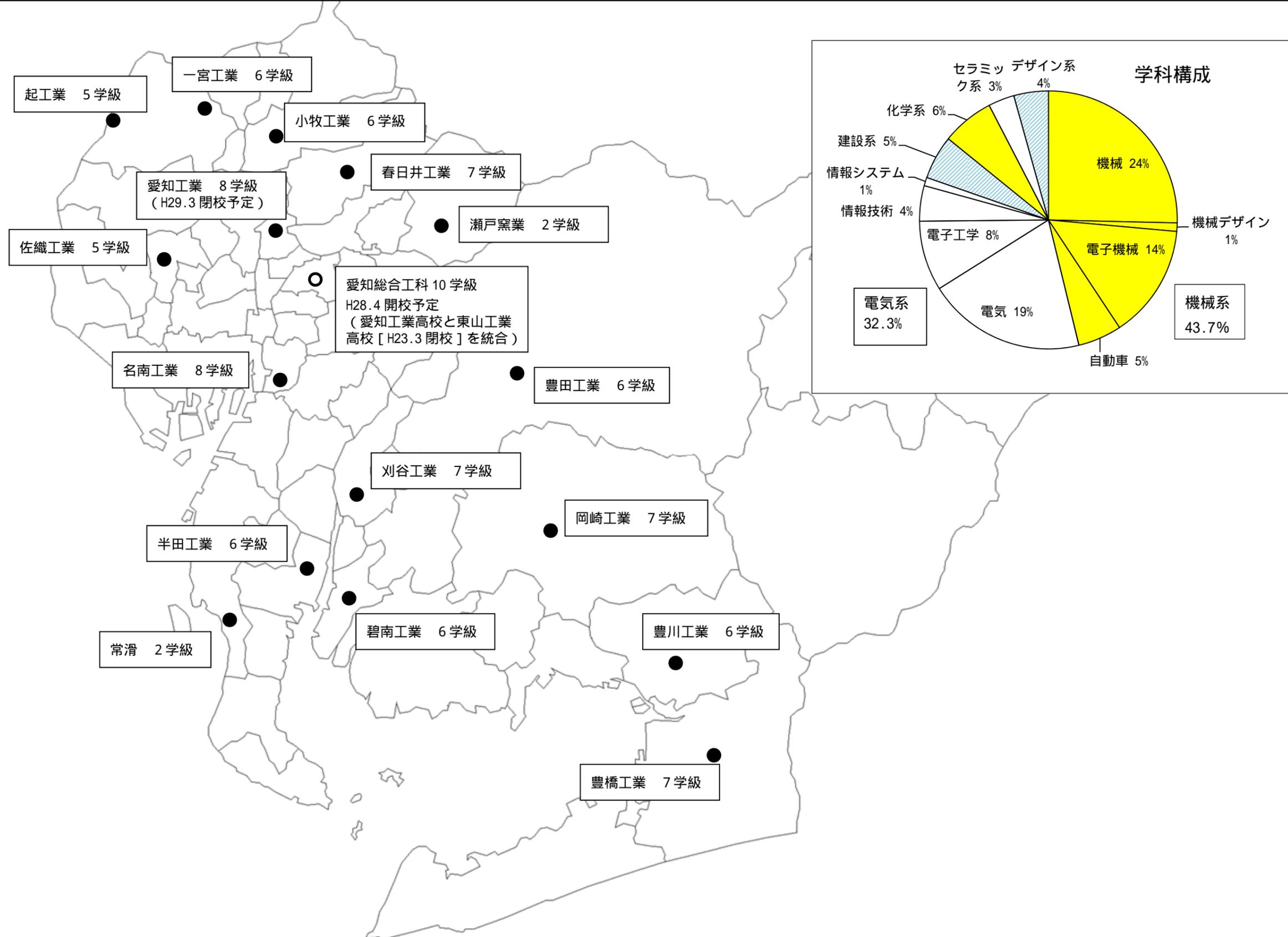
学科の内訳は、生物生産系学科が50.0%、食品加工系学科が9.4%、バイオテクノロジー系学科が6.3%、森林林業科が9.4%、農業土木系3.1%、造園系9.4%とヒューマンテクノロジー系12.5%。卒業生は、農業で学んだ専門的な知識や技術を生かして、さまざまな分野で活躍。

水産に関する学科を設置している県立高校は、水産科単独校1校。学科の内訳は、海洋科学科、情報通信科、海洋資源科、水産食品科の4科。



工業高等学校の設置状況

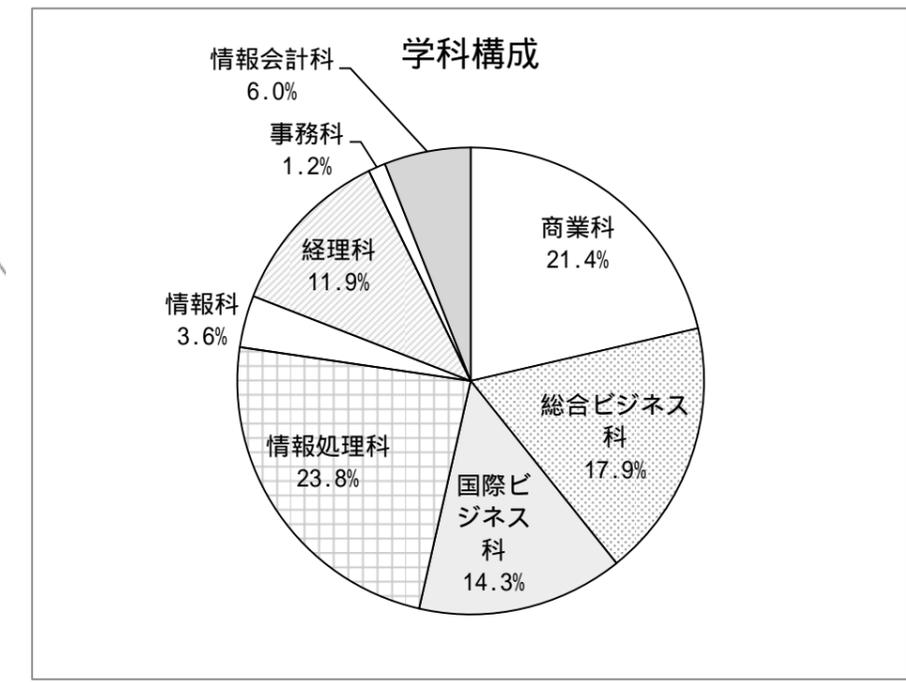
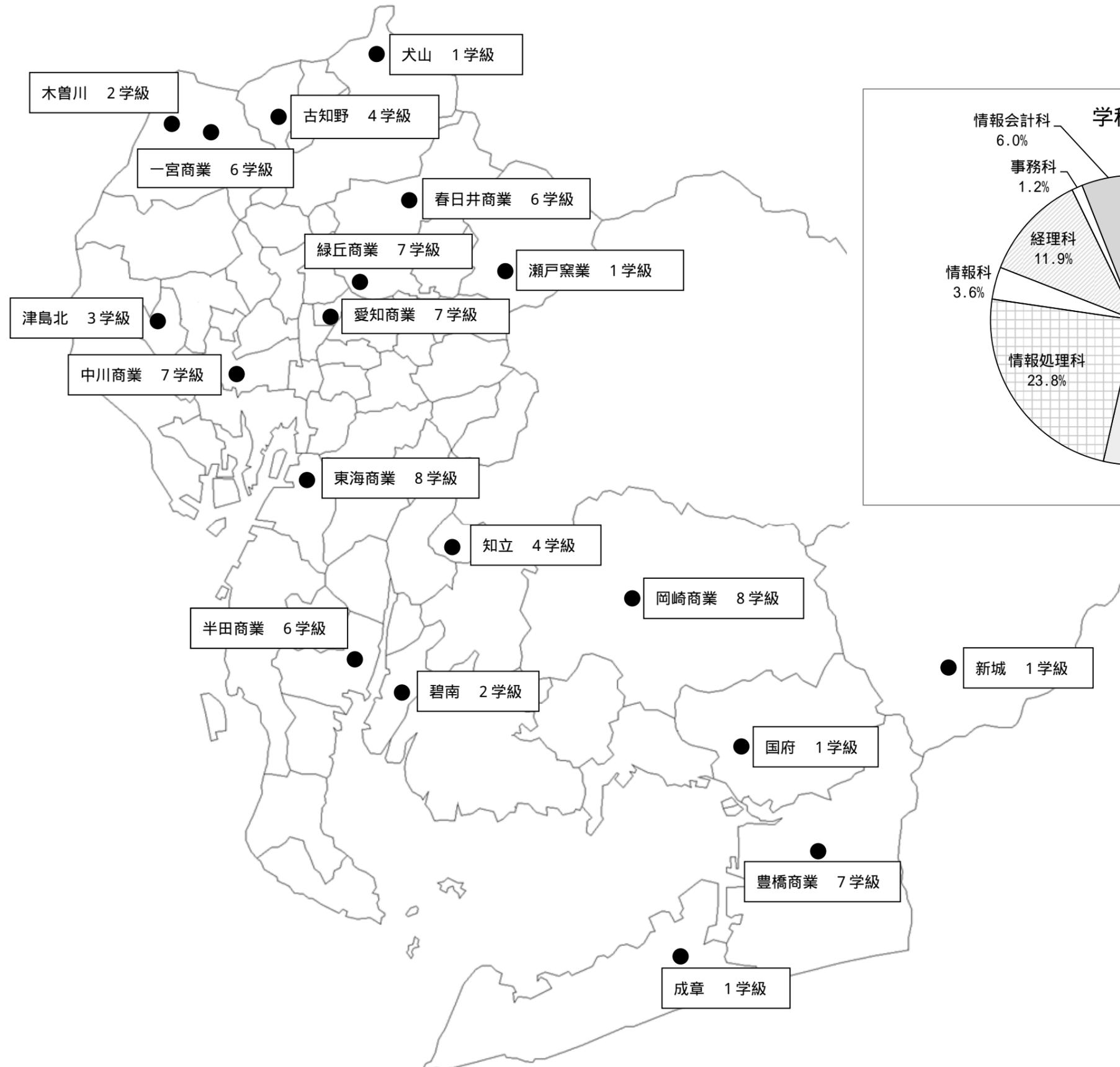
工業に関する学科を設置している県立高校は、工業科単独校14校、その他の学科との併置校2校の合計16校。（全日制県立高校146校）
 学科の内訳は、機械系学科が43.7%、電気系学科が32.3%、建設系学科が10.4%、化学系学科が6.2%、セラミック系3.1%、デザイン系4.1%となっており、機械・電気系学科で76%を占め、製造業を中心とする本県産業を担う人材を多く輩出。



商業高等学校（商業科をもつ高等学校）の設置状況

商業に関する学科を設置している県立高校は、商業科単独校9校、普通科及びその他の学科との併置校10校の合計19校。（全日制県立高校146校）

学科の内訳は、商業科が21.4%、総合ビジネス科が17.9%、国際ビジネス科が14.3%、情報処理科が23.8%、情報科3.6%、経理科11.9%、事務科1.2%、情報会計科6.0%。卒業生は、商業で学んだ専門的な知識や技術を生かして、さまざまな分野で活躍。



家庭・看護・福祉高等学校の設置状況

(家庭科をもつ高等学校 15校・福祉科をもつ高等学校 4校・看護科をもつ高等学校 2校)

家庭・看護・福祉に関する学科を設置している県立高校は、家庭に関する学科は15校()、福祉科は4校()、衛生看護科は2校()である。(全日制県立高校146校)
 家庭に関する学科の内訳は、生活文化科が7校41.2%、生活デザイン科が3校17.6%、生活情報科が2校5.9%、生活創造科は1校5.9%、食物科は1校5.9%、調理国際科1校5.9%、ファッション創造科は1校5.9%、ヒューマンケア科は1校5.9%である。(併設：佐屋・岩津高校)

